

三重県知事

鈴木 英敬 様

公務より自民党候補応援の姿勢に厳しく抗議します

2016年7月5日

県民本位のやさしい三重県政をつくる会

会長 辻井 良和

日頃は、県民の暮らしの向上にご努力され、ご苦労さまです。

さて、今、参議院選挙が激しく争われていますが、報道によると6月30日昼、公務の時間帯にぶらさりの「記者会見」を中止し、自民党新人候補の応援に伊勢市まで出かけ、「安倍総理率いる自公政権が長く安定的に運営されることが、三重県、日本にプラスになる」と応援演説をされたと伝えられています。

知事の職務は、選挙時には一定の政党や支持者の支援をもとに、政策を語り訴えることは当然ですが、当選後は、特定の政党・団体の立場に立つべきではなく、すべての県民の福祉向上に努める責務があると考えます。

まして、昨年（2015年）の知事選挙では、「県民党」をかかげ、自民党・公明党の他、民主系（当時）の「新政みえ」や連合三重の推薦も受けて、知事に再選されました。

今回の参議院選挙は、安倍政権がすすめる、「集団的自衛権」の名による憲法違反の「戦争する」国づくりと、アベノミクスによる新自由主義による格差拡大の経済政策を軸に、激しく意見が争われ、県民世論も二分するなかで一方の立場で応援にたつことは、「県民党」の名に値しない行為と言わざるを得ません。

県民本位のやさしい三重県政をつくる会は、知事による自民党候補の応援について厳しく抗議し、今後、公務中に特定候補の応援をしないよう強く申入れます。

以上